

ユーシン

景況レポート

Number.91
(2017.1~3月期)

結城信用金庫

■ このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業221企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

業況は製造業・不動産業を除く業種で低下

1月~3月期の概況

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△10.4と、2016年10~12月期(前期)の調査より3.3ポイントマイナス幅が増加し、景況感はわずかに低下しました。

業種別では、卸売業、小売業、サービス業、建設業で低下しましたが、建設業は唯一プラス水準を維持しました。他方、不動産業は前期比17.6ポイント、製造業は同5.7ポイント改善しました。

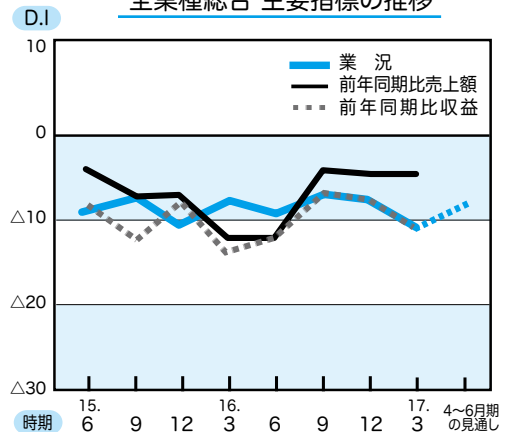
項目別では、売上判断D.Iは△8.6と前期比10.4ポイント、収益判断D.Iは△10.4と同5.1ポイントともに低下。また、前年同期比売上額判断D.Iは△4.5、同0.1ポイント低下、同収益判断D.Iも△10.9、同3.4ポイント低下しました。

雇用面では、人手過不足D.Iは△15.9とマイナス幅が前期比0.6ポイント改善し、人手不足感がわずかに緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは2.7と同0.5ポイント増加しました。

借入金の動きや借入難易度では特に大きな変化は見られませんでした。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が35.7%、「売上の停滞・減少」が33.0%、「利幅の縮小」が24.0%で上位となり、前期と同様の課題が挙げられました。

全業種総合 主要指標の推移



4月~6月期の見通し

業況の見通し判断D.Iは△8.7、実績比1.7ポイント改善の見込

来期は、建設業、不動産業で低下、他の業種では改善を見込んでいます。項目別では、売上判断D.Iは当期実績比2.3ポイント、収益判断D.Iは同3.6ポイントともに改善、販売価格判断D.Iは横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比0.8ポイントわずかにマイナス幅が改善、また、残業時間D.Iは同0.5ポイント増加の見通しとなっています。

当面の重点施策でも、「経費の節減」が51.1%、「販路を広げる」が42.5%、「人材を確保する」が23.1%と上位になり、前期と同様の結果となりました。

景況天気図

〔この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました〕

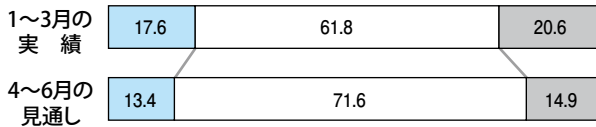
業種名	時期	28年10~12月	29年1~3月	29年4~6月見通し	概要	要
総合					業況判断D.Iは、3.3ポイント低下し△10.4。来期は、1.7ポイント改善し△8.7の見通し。	
製造業					業況判断D.Iは、5.7ポイント改善し△2.9。来期は、1.4ポイント改善し△1.5の見通し。	
卸売業					業況判断D.Iは、13.5ポイント低下し△22.6。来期は、19.3ポイント改善し△8.3の見通し。	
小売業					業況判断D.Iは、9.7ポイント低下し△31.7。来期は、7.3ポイント改善し△24.4の見通し。	
サービス業					業況判断D.Iは、17.1ポイント低下し△13.8。来期は、3.5ポイント改善し△10.3の見通し。	
建設業					業況判断D.Iは、2.8ポイント低下し8.6。来期は、17.2ポイント低下し△8.6の見通し。	
不動産業					業況判断D.Iは、17.6ポイント改善し0.0。来期は、5.9ポイント低下し△5.9の見通し。	

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

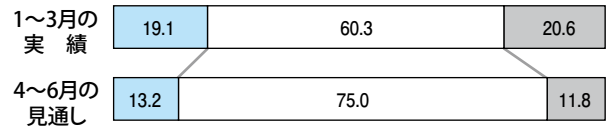
■ 製造業

回答企業数68企業(回答率94.4%)

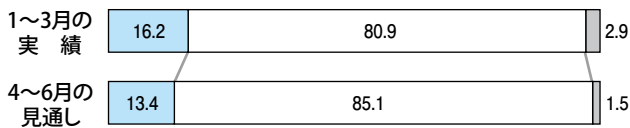
【業況】



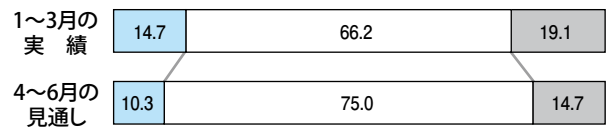
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加(良い) □ 変わらず(変化無し) ■ 減少(悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは△2.9、前期比5.7ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△1.5と前期比2.9ポイント低下、収益判断D.Iでは△4.4と同7.0ポイント改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが1.5、同1.4ポイント、同収益判断D.Iが△4.4、同3.0ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは△23.5と前期比ほぼ横ばいとなり、人手不足感に変化はなく、前期比残業時間D.Iは7.4と前期比2.7ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が23.5%（前期32.9%）、「予定あり」が17.9%（前期25.7%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は17.6%（前期20.0%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」、「利幅の縮小」がともに29.4%、「人手不足」が26.5%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

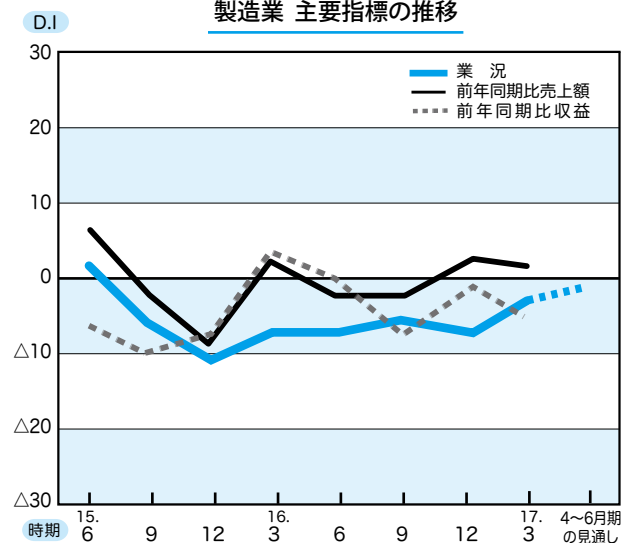
業況の見通し判断D.Iは△1.5、当期実績比1.4ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iは当期実績比3.0ポイント改善、収益判断D.I、販売価格判断D.Iはともに横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比2.6ポイント改善、残業時間D.Iはほぼ横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が60.3%、「販路を広げる」が51.5%、「人材を確保する」が22.1%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



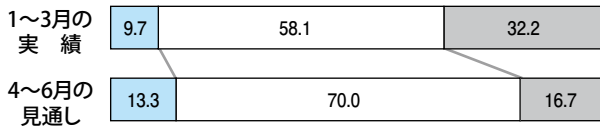
調査員のコメントから

ものづくり補助金等を積極的に活用し、業況回復に努めており徐々に成果がでてくる。今後も生産性向上に力を入れるため設備導入を進めていく方針。

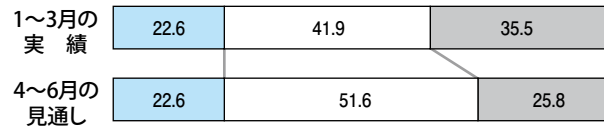
■ 卸 売 業

回答企業数31企業(回答率93.9%)

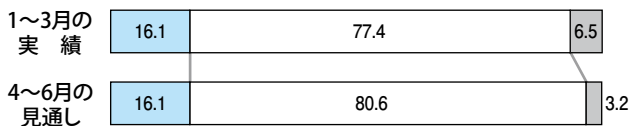
【業 況】



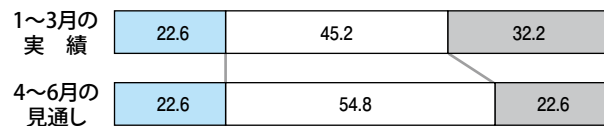
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加(良い) □ 変わらず(変化無し) ■ 減少(悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは△22.6、前期比13.5ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iは△12.9と前期比25.0ポイント、収益判断D.Iは△9.7と同18.8ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△9.7、前期比9.7ポイント低下、同収益判断D.Iは△16.1、同13.1ポイント低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが0.0と前期比6.1ポイント改善し、人手不足感が緩和しました。また、前期比残業時間D.Iでは3.2と同9.5ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が25.8%（前期21.9%）、「予定あり」が13.3%（同21.9%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.7%（前期21.2%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が45.2%、「売上の停滞・減少」が35.5%、「取引先の減少」が22.6%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

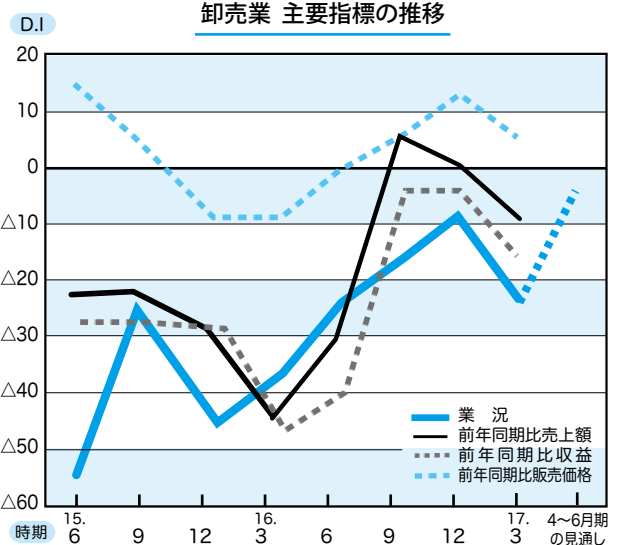
業績の見通し判断D.Iは、△3.3と当期実績比19.3ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iは当期実績比9.7ポイント、収益判断D.Iが同9.7ポイント、販売価格判断D.Iも当期実績比3.2ポイントそれぞれ改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比3.2ポイント低下、残業時間判断D.Iは横ばいの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が64.5%、「経費の節減」が51.6%、「情報力の強化」が35.5%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



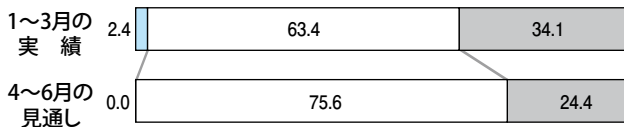
調査員のコメントから

納品以外に取引先店舗の商品配置の指導等を行っている。価格競争もあるが、新商品の需要に対する目利きも重要であり、今後仕入れなど、独自のスタイル・考えなどが経営を左右する可能性がある。

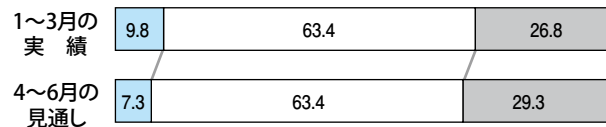
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

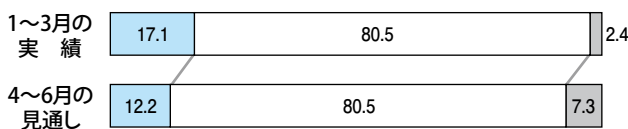
【業 況】



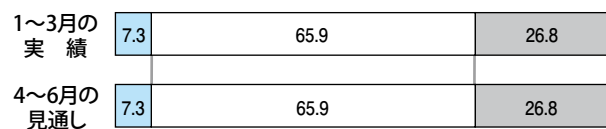
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加(良い) □ 変わらず(変化無し) ■ 減少(悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは△31.7、前期比9.7ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△17.1と前期比9.8ポイント、収益判断D.Iは△19.5と同12.2ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△17.1、前期比2.5ポイント、同収益判断D.Iは△24.4、同7.3ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△10.0と前期比2.5ポイントマイナス幅が改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは△7.5と前期比5.0ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が22.0%（前期22.0%）、「予定あり」が22.5%（前期24.4%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は17.1%（前期12.2%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が46.3%、「同業者間の競争激化」が39.0%、「利幅の縮小」が29.3%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

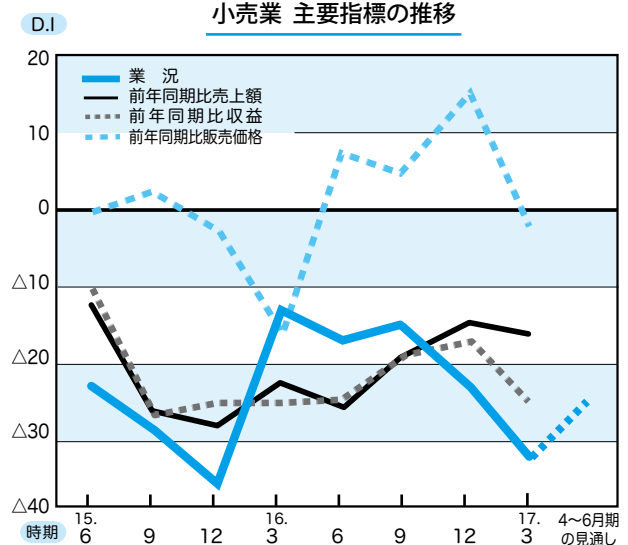
業況の見通し判断D.Iは△24.4、当期実績比7.3ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iは当期実績比4.9ポイント低下、収益判断D.Iは横ばい、販売価格判断D.Iが同2.4ポイント低下をそれぞれ見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比2.5ポイント低下、また、残業時間判断D.Iは同2.5ポイント増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が53.7%、「売れ筋商品の取扱」が26.8%、「品揃えを改善する」が24.4%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



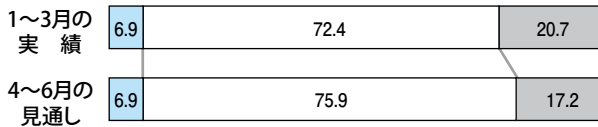
調査員のコメントから

近隣への競合店出店により売上減少。販売強化、人事見直しにより改善を図っている。

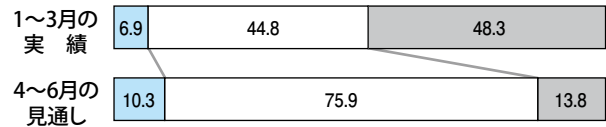
■ サービス業

回答企業数29企業(回答率93.5%)

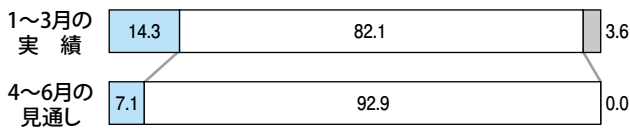
【業況】



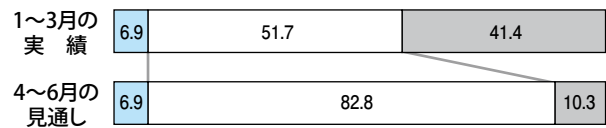
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加(良い) □ 変わらず(変化無し) ■ 減少(悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは△13.8、前期比17.1ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△41.4、前期比51.4ポイント、収益判断D.Iが△34.5と同37.9ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが△17.2、前期比10.5ポイント、同収益判断D.Iは△20.7、同10.7ポイントともに低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△10.3、前期比残業時間D.Iは△3.4ともに横ばいとなり、雇用面の動きに大きな変化は見られませんでした。

借入金の動きでは、「借入した」が20.7%（前期20.0%）、「予定あり」が7.1%（前期6.9%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は17.2%（前期10.0%）となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が34.5%、「売上の停滞・減少」が31.0%、「人手不足」が20.7%上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

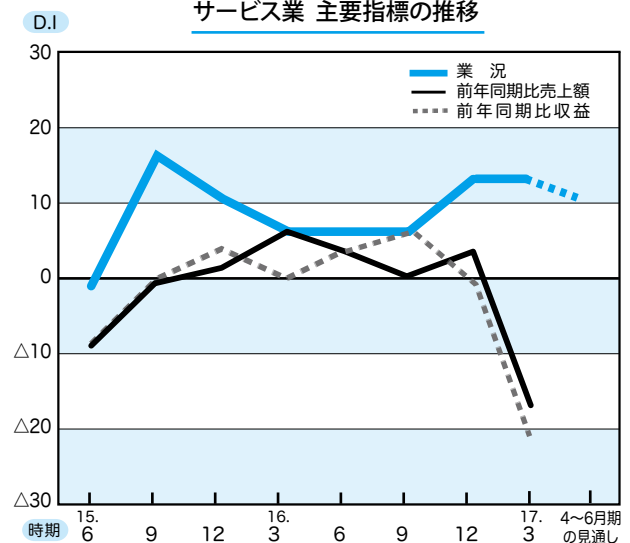
業況の見通し判断D.Iは△10.3、当期実績比3.5ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比38.0ポイント、収益判断D.Iでは同31.1ポイントともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比3.6ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比3.4ポイント増加、また、残業時間判断D.Iも同10.3ポイント増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」、「販路を広げる」がともに41.4%、「技術力の強化」が27.6%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



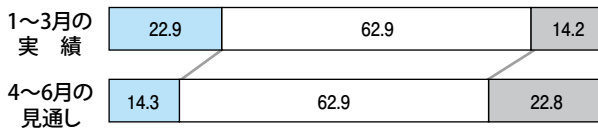
調査員のコメントから

顧客の世帯間での継承が重要。若者が都会へ就職してしまうことが多い状況であり、顧客の確保がこれからの課題になる。

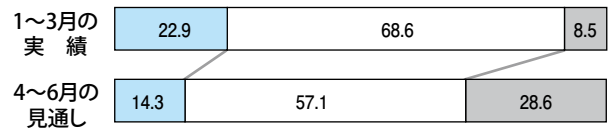
■ 建設業

回答企業数35企業(回答率97.2%)

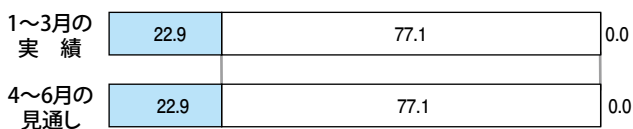
【業況】



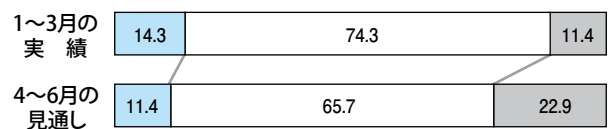
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加(良い) □ 変わらず(変化無し) ■ 減少(悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは8.6、前期比2.8ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが14.3と前期比5.7ポイント改善しましたが、受注残判断D.Iは5.7と前期比8.6ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは11.4、前期比20.0ポイント、同収益判断D.Iは0.0、同17.1ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△28.6と前期比2.9ポイントマイナス幅が拡大し、人手不足感がやや強まりました。また、前期比残業時間D.Iは11.4と前期比2.9ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が31.4%（前期23.5%）、「予定あり」が31.4%（前期26.5%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は14.3%（前期11.4%）となりました。

経営上の問題点では「同業者間の競争激化」が51.4%、「人手不足」が45.7%、「利幅の縮小」が22.9%と上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

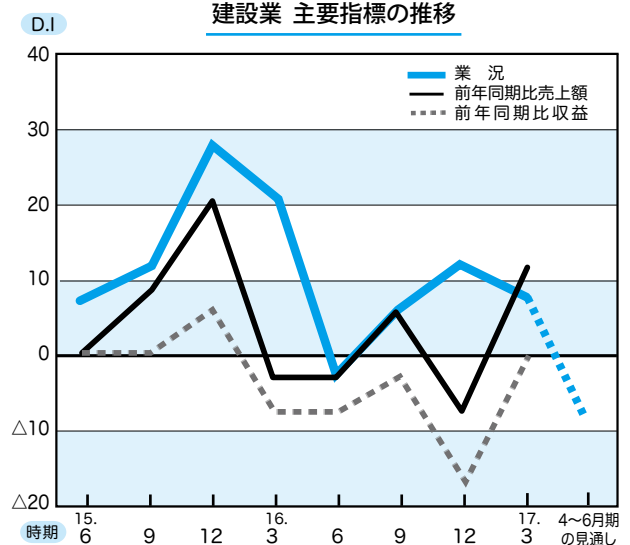
業況の見通し判断D.Iは△8.6、当期比17.2ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比28.6ポイント、収益判断D.Iが同14.3ポイントともに低下、また、材料価格判断D.Iでは横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比2.9ポイントマイナス幅が縮小、また、残業時間判断D.Iは11.4ポイント低下の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が54.3%、「販路を広げる」が51.4%、「情報力の強化」が25.7%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



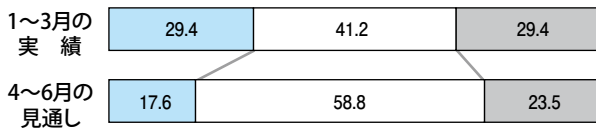
調査員のコメントから

長期に亘り人材不足であることから、受注があっても対応できないなど、経営上の問題となっている。

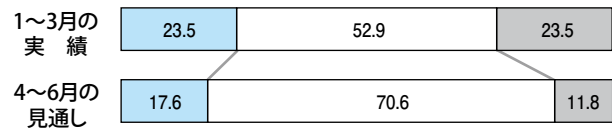
■ 不動産業

回答企業数17企業(回答率94.4%)

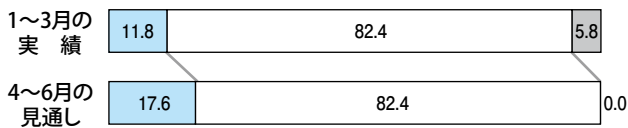
【業況】



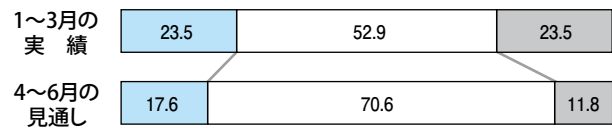
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加(良い)
 ■ 変わらず(変化無し)
 ■ 減少(悪い)

1月~3月期の概況

業況判断D.Iは0.0、前期比17.6ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが0.0と前期比23.5ポイント、収益判断D.Iは0.0と前期比29.4ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iが0.0と前期比5.9ポイント改善、収益判断D.Iは0.0と同5.9ポイント低下しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.8と前期比横ばい、前期比残業時間D.Iは0.0と同5.9ポイント低下しました。

借入金の動きでは、「借入した」が29.4%（前期23.5%）、「予定あり」は23.5%（前期17.6%）を示しています。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が41.2%、「商品物件の不足」が35.3%、「大手企業との競争激化」「同業者間の競争激化」がともに29.4%で上位に挙げられました。

4月~6月期の見通し

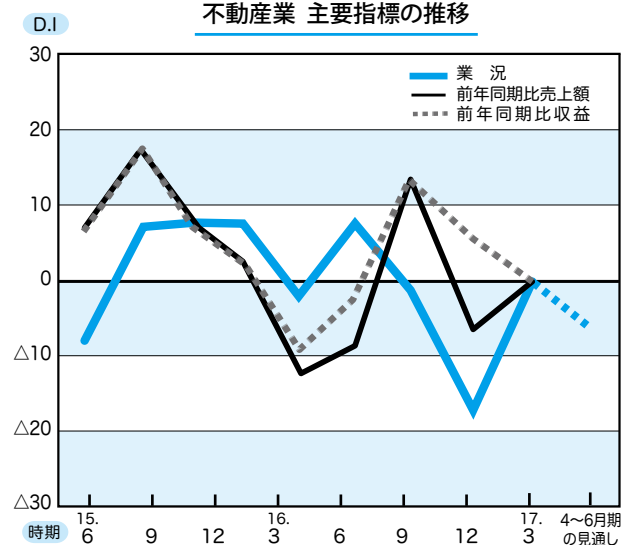
業況の見通し判断D.Iは△5.9、当期実績比5.9ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.9ポイント、収益判断D.Iは同5.9ポイントともに改善、また、販売価格判断D.Iは当期実績比横ばいを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは横ばい、残業時間D.Iは5.9ポイント増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「情報力の強化」が64.7%、「販路を広げる」が52.9%、「宣伝・広告の強化」が47.1%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

近隣地域での住宅新築案件は徐々に減少している。相続等で優良物件が突発的に出てくるケースもあるが、件数は少ない。情報収集が事業継続上で不可欠である。

特別
調査人手不足下における
中小企業の人材活用策について

「人手不足下における中小企業の人材活用策」について調査を実施しました。

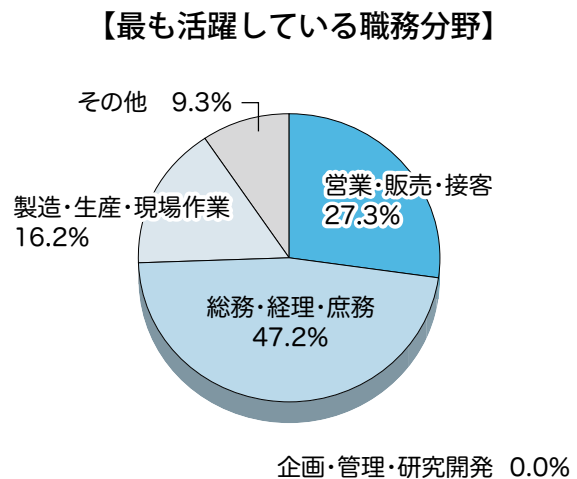
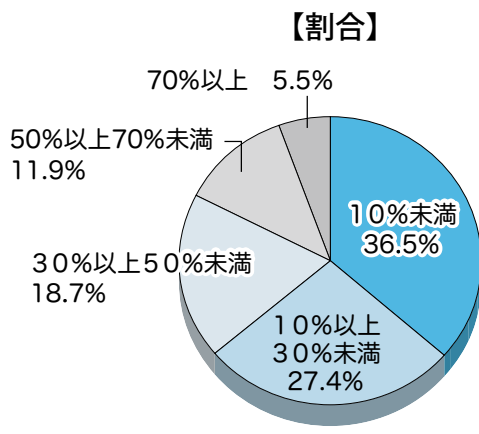
少子高齢化に伴う人手不足解消の施策として、女性や高齢者等の躍進が期待されていますが、貴社での従業員に占める割合、最も活躍している職務についての結果は次のようになりました。従業員に占める女性の割合が「10%未満」、担当職務では「総務・経理・庶務」が多くなっています。また、高齢者の割合については「10%未満」、担当職務は「製造・生産・現場作業」が多くなっています。

次に、女性、高齢者等の今後の躍進推進については、「どちらともいえない」との結果が大半を占めております。

以下に、詳しく掲載しております。

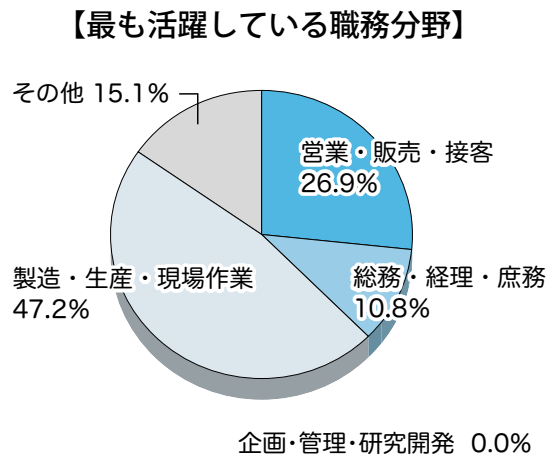
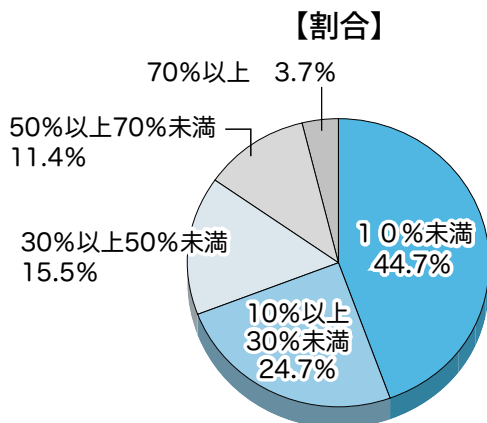
問1

少子高齢化社会の進展にともない、企業経営上の課題の一つとして人手不足がクローズアップされています。こうしたなか、女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業員数に占める女性の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、女性が最も活躍してらっしゃる職務はどのような分野ですか。（単位：%）



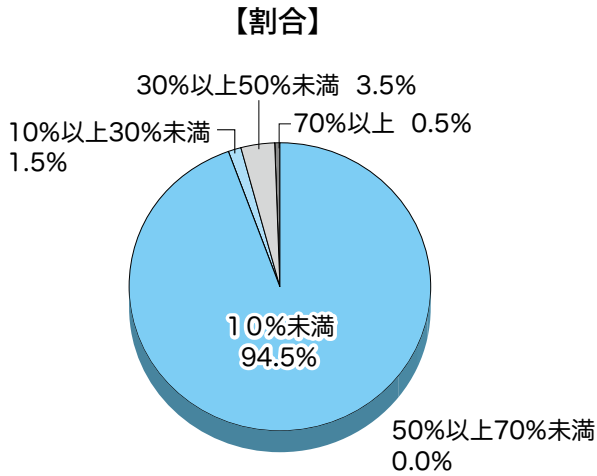
問2

問1と同様、高齢者（ここでは60歳以上を想定）の活躍推進について、貴社の従業員数に占める高齢者の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、高齢者が最も活躍している職務はどのような分野ですか。（単位：%）

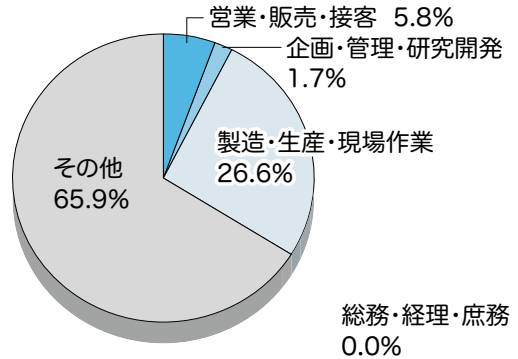


問3

問1と同様、外国人の活躍推進について、貴社の従業員数に占める外国人の割合(非正規含む)はおよそのくらいですか。また現在、外国人が最も活躍している職務はどのような分野ですか。
(単位:%)

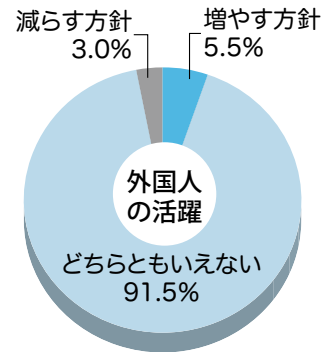
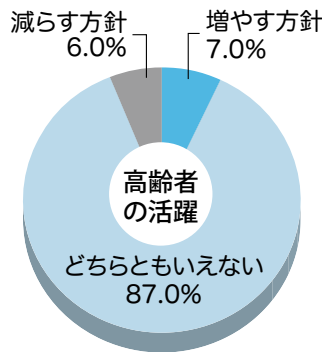
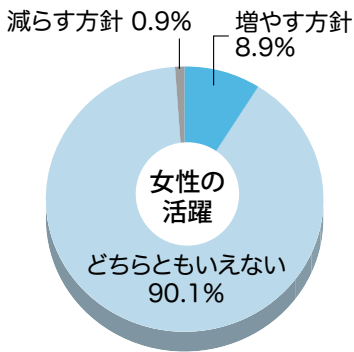


【最も活躍している職務分野】



問4

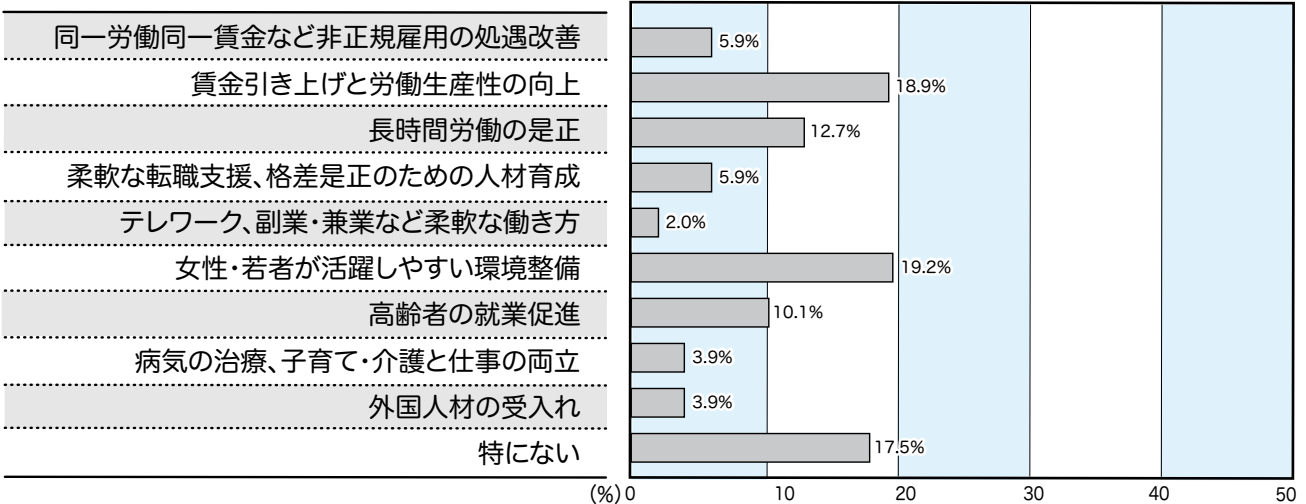
女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、貴社では、今後、どのようにお考えですか。
(単位:%)



問5

政府は、「働き方改革実現会議」において、以下の9項目を課題として検討しています。これら9項目のうち、貴社が注力しようと考えているものを選んでお答えください。
(単位:%)

(複数回答:3つ以内)



提携事業所にお勤めのみなさまへ

職域サポート契約制度

下記の
ローン商品の金利を
店頭表示金利から
年1.50%
引き下げます。
※ただし、他の金利引き下げ適用との
重複はできません。



職域サポート契約制度とは? 当金庫と職域サポート契約制度を締結いただいている提携事業所にお勤めの皆様全員が対象となり、各種ローンをご利用される場合、特別金利でご利用いただける制度です。

提携事業所は、次のいずれの要件も満たすものとします。

- ①当金庫営業区域内で事業を営んでいる法人・個人事業所（従業員数5名以上）であること。
- ②手形交換所または電子債権記録機関の取引停止処分のないこと。
- ③当金庫との取引の有無は問いません。（当金庫営業区域内の地方公共団体等）

ご利用いただける方（下記の条件をすべて満たされる方）

- 契約先の代表者、役員または従業員の方
- 申込時の年齢が20歳以上の方
- 保証会社の保証が得られる方

職域サポート契約制度の対象ローン（一社）しんきん保証基金6商品

カーライフプラン

通常金利 **年6.130%** → マイナス金利適用後 **年4.630%** [固定金利・保証料込み]

通常金利 **年5.755%** → マイナス金利適用後 **年4.255%** [変動金利・保証料込み]

- ご融資期間/3ヵ月以上10年以内（元金返済据置は6ヵ月以内）
- ご融資金額/1,000万円以内（1万円単位）
- お使いみち/新車購入、中古車購入、バイク購入、パーツ・オプションの購入・取付、免許取得、車検・修理、自動車保険、車庫設置、自動車購入資金の借換（申込人本人が借入したローンに限る）などの資金（ただし、営業用車両や個人から購入する車両は除きます。）
- 保証料/金利に含まれます。

一般個人ローン

通常金利 **年9.300%** → マイナス金利適用後 **年7.800%** [固定金利・保証料込み]

通常金利 **年9.300%** → マイナス金利適用後 **年7.800%** [変動金利・保証料込み]

- ご融資期間/3ヵ月以上10年以内
- ご融資金額/500万円以内（1万円単位）
- お使いみち/健康で文化的な生活を営むために必要な資金（事業資金、株式取得資金、投機的な性格の資金、税金支払資金、転貸資金、旧借返済資金は除きます。）
- 保証料/金利に含まれます。

※上記ローンにつきましては、事前に審査があり、審査結果によってはご希望に添えない場合がございます。
※勤務先を通じてお申込みする必要はありません。直接当金庫の担当者へご連絡ください。また、お申込みおよびお申込み内容等は個人情報ですので、勤務先へお知らせすることは一切ございません。
※金融情勢の変化により、金利は変更となる場合がございます。

教育プラン

通常金利 **年4.555%** → マイナス金利適用後 **年3.055%** [固定金利・保証料込み]

通常金利 **年3.655%** → マイナス金利適用後 **年2.155%** [変動金利・保証料込み]

- ご融資期間/3ヵ月以上16年以内（元金返済据置は卒業予定月まで）
- ご融資金額/1,000万円以内（1万円単位）
- お使いみち/ご本人またはご本人の子弟、孫、被扶養親族が学校（教育施設）に入学または在学するために必要な次の資金●幼稚園から大学、大学院（法科大学院含む）、専門学校、各種学校、予備校などの学校納付金（入学費、授業料、設備費など）●教材費、下宿費用、引越費用、受験費用、交通費等の付帯費用（100万円以内）●留学費用●教育関連資金の借換資金
- 保証料/金利に含まれます。

子育て応援プラン

通常金利 **年3.655%** → マイナス金利適用後 **年2.155%** [変動金利・保証料込み]

通常金利 **年3.655%** → マイナス金利適用後 **年2.155%** [変動金利・保証料込み]

- ご融資期間/3ヵ月以上10年以内
- ご融資金額/100万円以内（1万円単位）
- お使いみち/出産・子育てにかかる次の資金（但し、支払済資金を除く）
①出産・子育て・小学校入学準備に必要な資金
②申込人が①を使途として当金庫を含む金融機関から借り入れたローンの借換資金および借換に伴う繰上返済にかかる手数料（①と合わせた申込に限る。）
- 保証料/金利に含まれます。

商品の詳しい内容につきましては、お近くの窓口またはホームページにてご確認ください

リフォームプラン

通常金利 **年3.855%** → マイナス金利適用後 **年2.355%** [変動金利・保証料込み]

通常金利 **年3.855%** → マイナス金利適用後 **年2.355%** [変動金利・保証料込み]

- ご融資期間/3ヵ月以上15年以内（元金返済据置は6ヵ月以内）
- ご融資金額/1,000万円以内（1万円単位）
- お使いみち/申込人が居住（居住予定を含む）し申込人もしくは家族が所有している自宅、または家族が居住（居住予定を含む）し申込人が所有している自宅に関する次の資金●住宅修繕・増改築等のリフォーム●リフォームローンの借換●リフォームまたはリフォームローンの借換と合わせた住宅ローンの借換●インテリア・家電等の購入資金（リフォームと合わせた申込で100万円まで）
- 保証料/金利に含まれます。

ブライダルローン

通常金利 **年7.850%** → マイナス金利適用後 **年6.350%** [固定金利・保証料込み]

通常金利 **年7.850%** → マイナス金利適用後 **年6.350%** [変動金利・保証料込み]

- ご融資期間/3ヵ月以上10年以内
- ご融資金額/500万円以内（1万円単位）
- お使いみち/本人または子の挙式費用・披露宴費用・その他結婚に関する費用。但し、結婚金は除きます。
- 保証料/金利に含まれます。

QRコードを読み取っていただくと結城信用金庫のホームページにアクセスできます。



平成28年5月2日現在

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部 〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414
Eメール yukisb@intio.or.jp http://www.shinkin.co.jp/yuki/